

(別紙様式1)

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜市立境川中学校		
実 施 期 間	平成26年11月29日(土)		
実 施 概 要	・1年生生徒を対象に「郷土の偉人 原三溪」の講話を実施。 ・原三溪の生き方・考え方を知り、自らの将来への志を高める。 ・配信メール、通信で紹介し来校者に公開する。		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	1	人
	地域関係者	16	人
	計 17 人		
実 施 状 況	<p>◇土曜日の教育活動で、1年生総合的な学習の時間の位置づけで実施した。</p> <p>テーマ 1年生…ふるさと 2年生…キャリア 3年生…生き方</p> <p>郷土の偉人 原三溪 の偉業とともに、その基盤となる考え方がどのように培われたのかについて視点を当てて学ぶ。</p> <p>◇1年生出席生徒278名に対し講話を行った。</p> <p>講師 岐阜県認定・生涯学習コーディネーター 原三溪・柳津文化の里構想実行委員会事務局長 市川 春雄 氏</p> <p>演題「三溪さんの何が素晴らしかったのか」</p> <ul style="list-style-type: none">・人々の生活の基盤に仏教があると考え、仏教建築や仏教美術を大切にした。さらに、日本の伝統芸術の保存、芸術家(下村観山、横山大観など)の支援育成に取り組んだ。美術品の収集は、三溪園を「遊覧御随意」とした通り、「みんなのため」であった。・師事した山田省三郎が、地域の治水に打ち込んだことから、社会に貢献する大切さを学んだ。関東大震災後の横浜復興、経済恐慌や金融危機の救済、生活困窮者や乳幼児のための社会福祉事業に私財を費やして尽力した根底には、この社会貢献の考え方がある。 <p>※原三溪自筆の書画掛軸4幅と原三溪の写真他、資料を掲示。</p> <p>※事前に「原三溪 マンガで見る日本まん真ん中おもしろ人物史シリーズ⑥ 企画・発行 岐阜県」を読書。6月の行事(ふるさとウォーク)では、現存する原三溪の生家を訪れている。</p> <p>◇教室に戻って講話の感想を書いた。</p>		

成果及び課題

<成果>

- ・経済恐慌などへの理解が不十分なことから、原三溪の素晴らしさを実感することに難しさがあったが、生徒個々によく聴いて考えられた。
- ・数は少なかったが来校者の感想意見から、学校教育にフィードバックするヒントが得られた。

<課題>

- ・パネルディスカッション方式にしたりプレゼン方法を工夫したり、学校も積極的に協力し、誰にもわかりやすい講話になるよう努力する。
- ・事前のPRを広く行い、多くの方に参観していただけるようにする。

◇生徒の感想

- ・何気なく見ていた場所が、すごく価値のあるものに見えてきました。
- ・「自分は人のために何ができるか」という生き方に感動しました。
- ・自分はどうか？周りの人のことをあまり考えていないのがちょっと情けないと思ったので、できるだけ周りを気づかって生きたい。
- ・三溪さんの考えは、とても広く壮大だと思いました。
- ・社会を動かすことまではできないけれど、小さいことでも人の役に立てるといいなと思いました。自分から行動して人から感謝されることをしたいです。
- ・社会に貢献してすごいと思いました。これからボランティアなどを進んでやりたいし、みんなのことを考えて生活したいです。

◇来校者の感想意見

講話について

- ・6月のふるさとウォーク実施、図書館の原三溪コーナーの設置と、つながりのある学習になっていることで深く理解できると思います。
- ・身の回りの土地や建物の歴史や由来を知り、郷土への愛着や誇りを一層高められるよい学習だと思います。
- ・わたしも（原三溪の）本を読みたいと思いました。

生徒の様子・学校教育について

- ・目を見て静かに話を聴いていました。真剣さが後ろから見ても感じられました。整列や入場の様子もよかったです。
- ・登下校で地域の人に大きな声で挨拶する子が多くいます。
- ・特に自転車通学の生徒は、安全に気をつけてほしいと思います。

